

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 R4年 1月 12日 (17:30~18:30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー スタッフ 12名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	10人	人	人	12人

前回の改善計画
・本人、家族の希望等情報を収集できた時は、ミーティングで自ら他スタッフに伝える様に個々のスタッフの目標・課題とする。
前回の改善計画に対する取組み結果
訪問時・送迎時に本人や家族からの意見・要望などを収集した際は、管理者・ケアマネにその都度報告を挙げることがほぼできていたと思う。そのため必要に応じて管理者・ケアマネが状況を把握し、改善策を考え、即時対応ができていた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	3	9			12
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	10			12
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	2	10			12
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?		12			12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・ミーティング・ノートにおいて情報共有ができている ・訪問した職員からの報告により、次の訪問時に必要な物などを用意することができている。 ・訪問した職員からの報告により、サービス内容の変更等に管理者・ケアマネが対応できている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・利用開始前の情報が不足していることがある。 (利用開始前のその方の環境により情報・ニーズが少ない場合がある) ・得られている情報の把握が完全でない時がある。 ・新規の利用者に関しては情報の収集や共有が遅れがちになることがあり、スタッフが把握できていないことがあった。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	・新規利用者に関しての情報の文書化を徹底すること。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 R4年 1月 12日 (17:30~18:30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー スタッフ 12名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	10人	0人	0人	12人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none">活動のケースカンファ、評価をミーティングの時間をうまく使い行っていく。30分というミーティング時間を有効に使うため、開始時に今日話し合うことについて確認し参加者一人一人がテーマについて意識を高める。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none">ミーティング開始時に話し合うことのテーマを伝えるようにした。 30分間のミーティングを3等分し、夜勤者報告 10分 当日の注意事項確認 10分 ケースカンファ 10分と予定した。毎日確実にできたわけではないが、ミーティングの時間を有効に使う意識は高まってきた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		12			12
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		12			12
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		12			12
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		12			12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">スタッフが利用者から収集した情報を表に書き留めることができた。またその情報が元になり、利用者の自宅での様子や希望を聞きだせることができた。利用者の目標を明確化する事がすこしづつ増えてきた。ミーティング中に日々のかかわりから得られた情報をスタッフ間で共有する事ができた。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">本人の目標がわからない場合がまだある。情報の共有はミーティング中に出来るが、更に深く詰めていく話し合いの時間を作れなかった。30分間という時間の中で、何を話し合うべきかを認識する意識がスタッフ間で差があることもある。来所者受け入れ、入浴時準備等で出勤スタッフがそろわないことも、できていないにつながる原因となってしまう。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	引き続き、ミーティングの有効活用の取り組みを行う事とする。 具体的には、時間配分は前年度と同じように分配。活動のケースカンファ・評価について計画をたてスタッフに配信するようにする。 また課題については管理者だけでなく介護スタッフ看護スタッフがそれぞれ担当する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 R4年 1月 12日 (17:30~18:30)

3. 日常生活の支援

メンバー スタッフ 12名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	10人	人	人	12人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ミーティングノートの把握徹底・強化 ・書き方の工夫をする。 ・定期的に内容の確認を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ミーティングノートに記載済みの内容を再度口頭伝達し共有の徹底をする認識が高まりつつある。しかしスタッフ全員とすると徹底認識は足りていない。 ・ノートの内容の変更が出来ていない事があったため、情報が漏れていることもあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	4	8			12
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	8	4			12
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	6	6			12
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	6	6			12
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	7	5			12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・各利用者、家族から知り得た情報を表に転記し、各スタッフがその情報を元に利用者との会話をより深くする事ができている。その事により利用者の活性化がみられる事がある。 ・ミーティング時以外でも変更があった際には即時スタッフに配信し、臨機応変に対応する事ができている 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・情報量は増えてきているが、周知されていない、またスタッフの情報量に差が出てしまうことがある。 ・会話の趣旨が伝わらず情報が少ない方もいらっしゃる。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
引き続き、 <ul style="list-style-type: none"> ・ミーティングノートの把握徹底・強化 ・書き方の工夫をする。 ・定期的に内容の確認を行う。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	R4年 1月 12日 (17:30~18:30)
-----	--------------------------

4. 地域での暮らしの支援

メンバー	スタッフ 13名
------	----------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	3人	9人	人	人	12人

前回の改善計画	<p>コロナウイルス感染予防対策を続けながら、制限のある地域との関わり方になると思われる。ふくふく六浦として出来ることや地域資源の力を把握し利用者・家族に伝えながら、支援を続けていく。</p>
---------	--

前回の改善計画に対する取組み結果	<p>コロナウイルス感染予防対策は続いていたが、地域資源の協力があり、利用者の自宅での生活をよりよく支えて行くことができた。地域の目がとても大事なものと感じる事が出来た。</p>
------------------	---

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		12			12
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		12			12
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		12			12
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		12			12

できている点	<p>200字程度で、できていることと、その理由を記入すること</p> <ul style="list-style-type: none"> 自宅での生活をふくふくだけでなくふれあい収集の利用により、支えて行くことができています。 日中外出されている様子を見かけた時、ふくふく職員だけでなく、関係している地域包括にも連絡をとり、在宅生活の現状を認識してもらっている。 利用している薬局とも連携をとり、服薬に関する情報を共有知ることができている。
--------	---

できていない点	<p>200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること</p> <p>今年度もコロナ禍の中で地域行事への参加が出来なかった。 新たな地域資源の活用を増やすことはできなかった。</p>
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 新たな地域資源の把握・利用を管理者ケアマネが中心となり行っていく。 地域住民でもあるスタッフからも地域資源等の情報を集めて行く事とする。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	R4年 1月 12日 (17:30~18:30)
-----	--------------------------

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー	スタッフ 12名
------	----------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	5人	7人	人	人	12人

前回の改善計画	事業所に必要な地域・社会資源の理解・認識をスタッフ全員に周知徹底し、それぞれの立場からの視点で利用者に必要なサービスを提供できるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	ふくふくの活動に関わる地域社会資源についてミーティングで伝達し、把握していくように促している。前年度より、スタッフの認識は高まってきている。今後も継続していく。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	7	5			12
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	7	5			12
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	5	7			12
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	5	7			12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>利用者との関係のある機関と連絡をとることにより、日々の生活の様子が見えて来る事がある。そこからサービス追加・変更につなげていく事ができている。</p> <p>出来ている。</p> <p>ご家族の就労・ご都合により急な通い・宿泊の要望がある時も柔軟に受け入れ利用していただけている。</p> <p>朝の訪問時・家族からの連絡など変更等があった時は即時スタッフに伝達しその日のケアにつなげている。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>地域ケアプラザ・薬局・商店・医院等利用者に関わっている団体の情報が増え連絡も取れるようになってきているが、利用者すべてにはできていない。ご家族からの情報のみの場合もある。</p> <p>口頭での伝達事項が記録されていないことがあり、周知できない事項もある。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>引き続き事業所に必要な地域・社会資源の理解・認識をスタッフ全員に周知徹底し、利用者のふくふく以外での生活の把握・理解を深めていく。</p> <p>スタッフ同志の伝達事項の配信・把握を徹底し、情報の漏れがない事業所を目指していく。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 R4年 1月 12日 (17:30~18:30)

6. 連携・協働

メンバー スタッフ 12名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	5人	6人	人	12人

前回の改善計画
世の中の情勢を踏まえ、今後の活動が決まってくると思われる。他機関との関わりがどの程度まで広がるかわからないが、出来るところから活動を再開する体制を整えておく。

前回の改善計画に対する取組み結果
制限が続く中、外部との関わりを少しづつ再開する方向で活動した。更なる感染対策の徹底を行い会議・ボランティア活動の受け入れを行う事ができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等他事業所）との会議を行っていますか？	7	5			12
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	6	6			12
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？				12	12
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？			1	11	12

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 ・他機関との会議・連絡会・カンファレンス・担当者会議にはケアマネが出席できている。
 ・福祉用具の事業所とは利用者の情報を細かく伝え、利用者にあったものを提供出来ている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 ・コロナ渦の中他機関との交流に制限がありすぎたため活動が思うようにできなかった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 引き続き、感染対策を徹底した上で、コロナ渦の現状に即した活動を考えて活気ある活動ができるようにしていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	R4年 1月 12日 (17:30~18:30)
-----	--------------------------

7. 運営

メンバー	スタッフ 12名
------	----------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5人	7人	人	人	12人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との協働についてスタッフ間で話し合う機会を多く作る。 又、ケアマネ、管理者の地域活動について事業所全体に認識してもらおうように働きかけていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	ミーティングでスタッフにケアマネ、管理者の活動を発表するようにした。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?	7	5			12
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	8	4			12
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	9	3			12
④	地域に必要なとされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	4	6	2		12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・意見や苦情があった場合にはケアマネ・管理者から報告があり、真摯に向き合い改善につながる取り組みを行っている。 ・スタッフからも活動に対して意見があれば内容を確認しサービスの向上につながるものは積極的に取り組むようにしている。 ・防災の地域拠点となるべく、備蓄に取り組んでいる。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ渦で地域と協働した取り組みが行えていない。また把握が出来ていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・地域と連携した活動がどの程度回復するかにもよるが、コロナ渦の中他機関との接触をひかえていたが感染対策を徹底した上で、ボランティア活動の協力を得ながら、ふくふくの活動を活気あるものにしていく。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 R4年 1月 12日 (17:30~18:30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー スタッフ 12名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	12人	人	人	12人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き社内研修の開催・参加を呼び掛ける。又研修の情報をスタッフ間に配信していく。 事業所の理念の徹底でサービスの質の向上を目指す。
前回の改善計画に対する取組み結果	社内研修の開催は定期的に行えて参加の呼びかけもしているが、参加スタッフに偏りがある。理念の徹底が行えなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	5	7			12
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	5	7			12
③	地域連絡会に参加していますか	3	9			12
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	10	2			12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 社内研修の開催・参加 ミーティングで日々の活動から気が付いたことをナース中心に発信し当日の活動に活かしている。 地域連絡会議はケアマネが中心に出席している。 外部研修に出席した際は、他スタッフにも概要を伝えている。(喀痰吸引取得研修) (またコロナ渦の中での研修であったため、実習以外はリモートで行われた。) 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> スタッフの運営推進会議の参加(現状は運営者・ケアマネ・管理者のみの参加)が出来ていない。通常の業務があり、スタッフの配置・参加が難しい。 研修への全員出席が出来ていない。 社内研修欠席のスタッフに対する伝達資料の用意があるが全員が読みこめていない 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 研修出席について呼びかけし、スタッフの積極的な参加を図る。 事例発表等事業所で作り上げるものに早めに取り掛かる。 研修欠席者に対する資料確認のチェックをする。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 R4年 1月 12日 (17:30~18:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー スタッフ 12名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	8人	2人	人	12人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年に引き続き、成年後見人制度についての勉強会を行う。 <p>個人情報の漏れについて、スタッフで話し合い自らが情報漏洩のもとにならないように会話に気を付ける様に周知する。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・成年後見制度について勉強を事業所全体で始められたが利用する方の利用が中止となり、スタッフの認識が薄れてしまった。知識、認識の向上をはかれなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	5	7			12
②	虐待は行われていない	11	1			12
③	プライバシーが守られている	4	8			12
④	必要な方に成年後見制度を活用している	6	6			12
⑤	適正な個人情報の管理ができている	10	2			12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・プライバシー保護のため利用者との会話で必要な時は別室に案内して、対応している。 ・家族からの希望もあり拘束帯を付けている方について、月に1度の振り返りを行っている。 ・拘束ベルトを装着しているが、必要最低限にするための話し合いをミーティングを使い定期的に話し合っている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフの成年後見制度に関する知識認識に徹底されていない。 ・各利用者の排泄・身体状況について、各スタッフが業務中に話す事が漏れてしまうことがあり意識が薄れることがある。 ・家族からの希望があり、拘束ベルトを装着している。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>成年後見人制度についての知識・理解を深める。 その為に資料を各スタッフに配布し、各自認識してもらう。 また新しいスタッフ 配属時には、オリエンテーションの中に成年後見制度についても説明する。 個人情報の漏れについて、スタッフで話し合い自らが情報漏洩のもとにならないように会話に気を付ける様に周知する。</p>	